

# キララリ

## えたじま

ソーランが  
私たちに  
くれたもの。



### 柿浦夢舞隊 (柿浦小6年)

ソーランを踊る柿浦夢舞隊は、4年前に結成。現在のメンバーは4年生のとき、当時の6年生が踊っているのを見て「自分たちもやりたい」と声を上げて始めました。昨年、一昨年と2年連続でソーランコンテストに出場。昨年は3位の好成績を残しました。

最初のころは一つ一つの型もままならず、動きも揃いませんでした。練習後は疲れで足がふらつく子も多かったとのこと。でも、メンバー一人が主役だという意識をもって練習に取り組み、1年後には見違えるほどの踊りができるようになりました。

担任の黒小 大介先生は、「子どもたちはいろいろな場面でソーランを披露して度胸がついたと思います。また、踊りを見た人が感動してくれ

踊り終わった後の拍手がうれしかった



山本 泰鳳くん

る、涙を流してくれる。そんな体験を通じて、『自分たちでも人の心を動かすことができる』ということを実感し、自分に自信が持てるようになったのではないだろうか。これからも、自分たちがま

ず動き、周りを巻き込んで何かをやるということを続けていってもらいたいです」と話していました。

ソーランをやっている一番思い出に残ったのは、あすなろで踊った時です。踊り終わるとものすごく大きな拍手をもらい、うれしかったです。小学校で学んだことを忘れず、中学生になってもスポーツに勉強に頑張りたいです。



江田市力キ祭での発表の様子。

### 編集後記

14ページで紹介した千本桜の清掃活動を取材後、テングス病にかかった枝を利用して焼き芋を作る姿が。鹿川小学校の子どもたちが、廃天ぶら油を使って枝を焼くところをカメラに収めつつ、そばに置いてあるサツマイモについてい目がいってしまいます。その時にかかった一声。「あんたも焼き芋ができれば食べんさいや」

きつと私の顔には、「焼き芋食べたい」と書いてあったのでしよう。久しぶりに口にしたできたての焼き芋は、中がほくほくしていて甘さが抜群。おいしくいただきました。



焼き芋おいしいね！